

2013年(平成25年)6月24日 月曜日

# ヒマワリ種まきに汗

浅舞小「満開の花楽しみ」  
全校児童

横手市

横手市平鹿町の浅舞小学校（黒澤正尚校長、274人）の全校児童が21日、地域住民と協力して学校近くの休耕田にヒマワリの種をまいた。順調に生育すれば8月中旬ごろに見頃を迎える。子どもたちは夏にふさわしい花を咲かせて地域に元気を届けようと張り切っている。

この日はNPO法人・樽見内地域資源保全委員会やJA秋田ふるさと青年部のメンバーも加わり、2区画計10畝に1時間足らずで種をまき終えた。土地は田中集落の住民が



上級生が下級生に教えながら行ったヒマワリの種まき作業

ら借りたもので、一部には5年生が先月下旬、あきたこまの苗を植えた。

作業終了後、同NPOの小野寺幸雄事務局長(70)は「ヒマワリの花が咲いて地域がぐっと明るくなればうれしい」

とあいさつ。6年生の藤原南(12)は「去年は地域の人が喜んでくれてうれしかった。今年もそうなればいい」、中川原由梨さん(12)は「ヒマワリが満開になると呼ぶ掛ける。」

緒に咲かせたい」とそれぞれ話した。9月には、市平鹿地域局が後援する絵画展を同校で開催予定。児童や地域住民にヒマワリを題材にした作品の出品を呼び掛ける。(渡辺歩)